

令和元年度 経営発達支援事業 実績・評価

1. 評価期間名 奈井江町商工会 経営発達支援計画評価委員会
2. 開催日時 令和2年4月15日(水) 14時00分～14時45分
3. 開催場所 奈井江町商工会

4. 出席者

- ・奈井江町商工会 会長 石川正人
- ・奈井江町商工会 副会長 太田裕治
- ・奈井江町役場産業観光課 課長 石塚俊也
- ・北門信用金庫奈井江支店 支店長 関口謙司
- ・北海道商工会連合会組織支援部広域支援課 主査 新谷大介
- ・奈井江町商工会 事務局長 長谷忠司
- ・奈井江町商工会 経営指導員 山形幸司

5. 令和元年度奈井江町商工会経営発達支援計画の実績と評価

I. 経営発達支援事業の内容

1) 地域の経済動向調査に関すること

- ・アンケート調査の実施

目標：1回 実績：1回 自己評価：B

町内事業所において業種ごとの景況感調査を実施

- ・各種経済情報の収集提供及び分析

目標：2回 実績：4回 自己評価：A

中空知、北海道、全国における景況調査を集計・分析を行い、情報提供を行う

2) 経営状況の分析に関すること

- ・巡回訪問の強化

目標：500回 実績：359回 自己評価：C

補助事業の周知や各種調査など積極的な巡回訪問を実施

- ・経営分析の実施

目標：20件 実績：20件 自己評価：B

経営自己診断システムやネットde記帳など経営分析ツールを活用し分析を行う

3) 事業計画策定支援に関すること

- ・計画の策定セミナー・個別相談会実施

目標：2回・10社 実績：2回・13社 自己評価：A

小規模事業者持続化補助金等の活用を目的とした事業計画策定セミナーを開催

- ・事業計画策定事業者数

目標：20件 実績：11件 自己評価：B

補助事業活用による計画策定7件、金融支援による計画策定4件実施

- ・創業支援・創業計画策定支援

目標：1社・1件 実績：0社・0件 自己評価：D

小売業の創業支援及び創業計画策定支援1件、建設業の創業支援1件実施

- ・商品開発セミナー・個別相談会実施

目標：1回・1社 実績：0回・0社 自己評価：D

新商品開発セミナーを開催

- ・第二創業（商品開発）計画策定事業者数

目標：1件 実績：0件 自己評価：D

4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・フォローアップ

目 標：84回 実 績：72回 自己評価：B

補助事業活用計画策定者フォローアップ47回、創業計画策定者フォローアップ25回実施

5) 需要動向調査に関すること

- ・消費者動向実態調査支援事業所数

目 標：3件 実 績：3件 自己評価：B

物産展にて消費者動向実態調査を実施

- ・消費者動向実態調査回数

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：B

町内イベントにて消費動向実態調査を実施

- ・ふれあいネットワーク利用者数

目 標：85件 実 績：60件 自己評価：B

ふれあいネットワーク事業内容の紹介配布やHPでのPR活動により利用者の増加に繋がる

- ・ふれあいネットワーク会員数

目 標：23社 実 績：26社 自己評価：A

ふれあいネットワークの活動をPRすることで加盟店増加に繋がる

- ・消費動向調査資料の提供

目 標：4回 実 績：6回 自己評価：A

各種消費動向調査の内容を集計し、HP等で情報発信を行う

- ・消費動向実態調査提供事業者数

目 標：26社 実 績：13社 自己評価：C

各種合会や巡回訪問等で積極的に情報提供を行う

6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・商談会・物産展出展事業者数

目 標：4社 実 績：3社 自己評価：B

12品目の商品の出展を行う

- ・インターネット活用支援

目 標：4社 実 績：5社 自己評価：A

商工会ホームページ内企業紹介ページの充実5社

II. 地域経済の活性化に資する取組

- ・関係機関の連携

目 標：計画協議 実 績：計画協議 自己評価：A

さくらまつりに向けた4者協議を活発に行う

- ・試食会

目 標：1回 実 績：7回 自己評価：A

奈井江産野菜を活用した商品開発を行う

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・北海道商工会連合会等専門支援機関との連携と情報交換

目 標：1回 実 績：3回 自己評価：A

支援ノウハウ、課題の解決方法について情報交換を行う

- ・近隣する商工会の経営指導員との情報交換

目 標：2回 実 績：3回 自己評価：A

消費動向や需要動向について情報交換を行う

2) 経営指導員等の資質向上等に関すること

・研修等への参加

目 標：経2補1記1 実 績：経3補1記1 自己評価：A

知識・技能・支援ノウハウの習得に繋がる

・職場内研修・情報共有

目 標：4回 実 績：7回 自己評価：A

複数職員による巡回訪問等を行うことで情報共有と支援ノウハウの継承を行う

3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

・事業評価委員会の開催

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

6. 委員からの意見等

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策に向けた事業者の支援が最重要課題となるため伴走型事業についてはそれを踏まえた事業内容の検討を行ってほしい。
- ・新型コロナウイルスの影響で事業を継続することが困難な事業所もあるため商工会として寄り添った支援が必要となってくる。
- ・地域資源を活用した商品開発事業などと一緒に専門家派遣を活用するとよいのではないか。
- ・新たなホームページ作成ツールが商工会連合会で使用することができるようになったので是非活用していただきたい。